

厚生省  
厚生科学研究費  
エイズ対策研究事業

# GUIDEBOOK

## 日本の エイズ・その医療体制

1998年度

北海道大学医学部附属病院

国立仙台病院

新潟大学医学部附属病院

●国立国際医療センター

石川県立中央病院

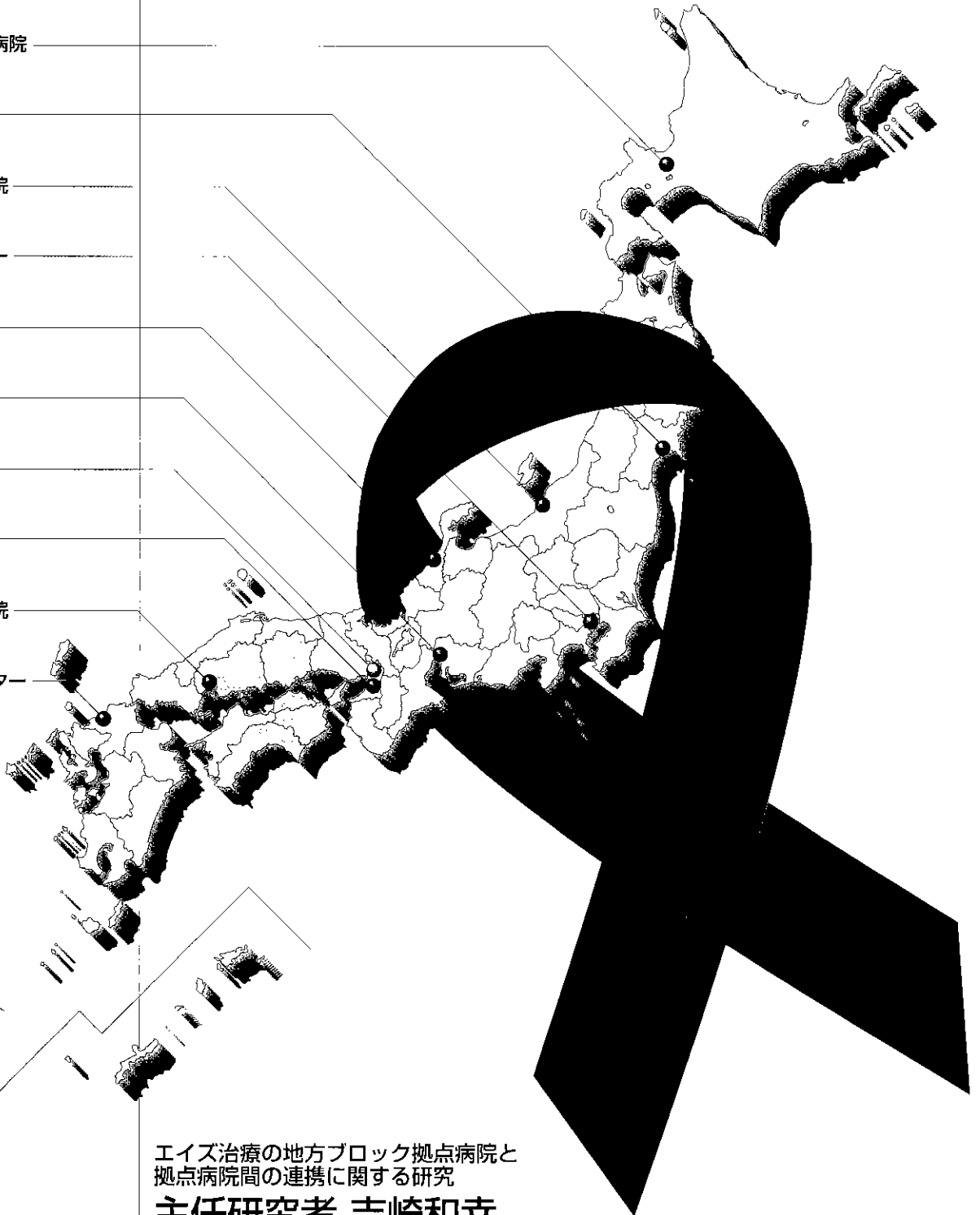
国立名古屋病院

◆大阪大学健康体育部

国立大阪病院

広島大学医学部附属病院

国立病院九州医療センター



エイズ治療の地方ブロック拠点病院と  
拠点病院間の連携に関する研究

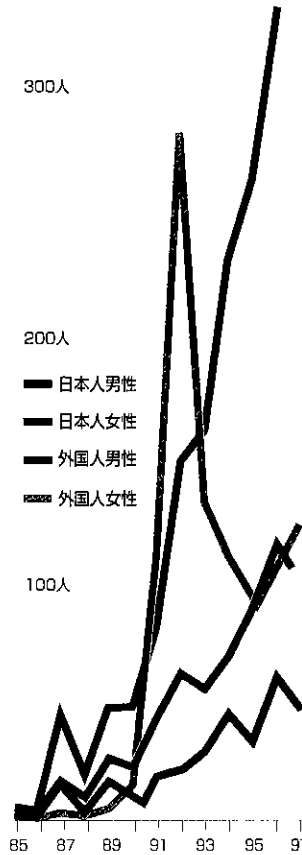
主任研究者 吉崎和幸

大阪大学健康体育部・健康医学第一部門

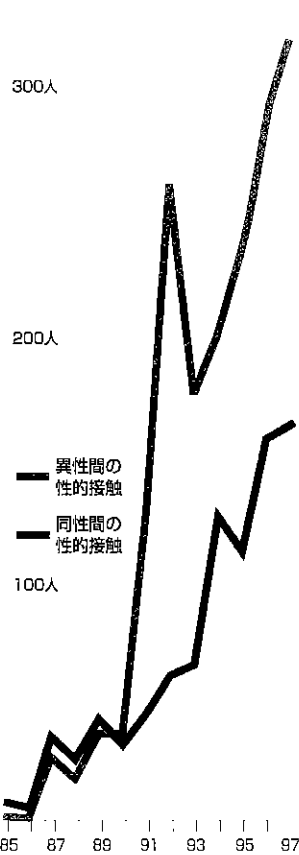
# エイズ医療体制が確立していきにしたがって いろいろな問題が浮かび上がってきました

## ①日本における患者・感染者はずっと増加傾向にある。

●新規患者・感染者の年次推移  
(国籍・性別)



●新規患者・感染者の年次推移  
(感染原因別)



①日本では、1985年に初めて同性間性交渉によるHIV感染症が報告されて以来、患者・感染者はずっと増加傾向にあります。しかも1990年からは異性間性交渉による感染が同性間性交渉による感染を上回る傾向を示しています。そうした状況にもかかわらず、エイズに対する人々の関心は薄れがちでした。そんな中、1998年7～9月、フジテレビ系列で『神様、もう少しだけ』という、援助交際でHIVに感染した女子高生を主人公としたドラマが放映され、その期間中、全国の保健所などでエイズに関する相談件数や検査件数が急増したことが話題になりました。テレビメディアの影響力の大きさをあらためて認識させることができました。

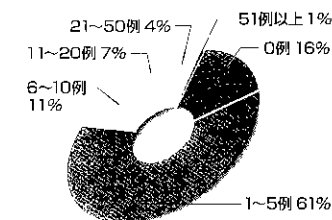
②先進諸国では、エイズ対策が進んで新規のHIV感染者数が減少し、エイズ患者も減る傾向にあります。その原因の一つとされるのが、プロテアーゼ阻害剤と逆転写酵素阻害剤を組み合わせた多剤併用療法（特に3剤併用）の導入です。日本でも3剤併用が次第に普及している傾向にありますが、まだ不十分です。3剤併用にも副作用があり、経済的負担が大きいなど問題点もありますが、有効性が確認されている以上、だれもがこの治療を受けられる体制作りが急務となっています。

## ②薬による治療法が進歩してエイズによる死亡率が減少した。

●3剤治療を実施している患者数

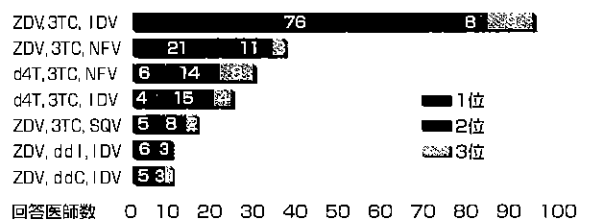
回答医師数	患者数
0例	26
1～5例	98
6～10例	18
11～20例	11
21～50例	6
51例以上	2
不明	5
無回答	1
有効回答数	161

●3剤治療を実施している医師と患者数  
有効回答医師数 161名中



●3剤併用療法、薬剤の組み合わせ

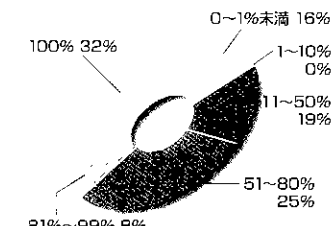
3剤の組み合わせを処方数の多い順に3組選んだ結果



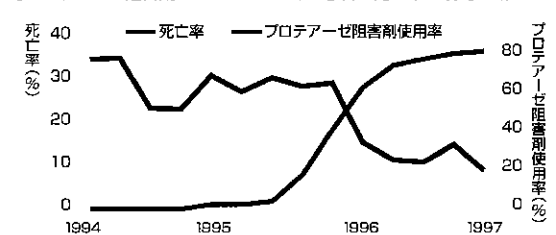
●3剤治療を実施している患者の割合

回答医師数	割合
0～1%未満	26
1～10%	0
11～50%	30
51～80%	41
81～99%	13
100%	51
不明	5
無回答	1
有効回答数	161

●3剤治療を実施している医師と患者の割合  
有効回答医師数 161名中



●プロテアーゼ阻害剤はアメリカのエイズ患者の死亡率を劇的に減じた



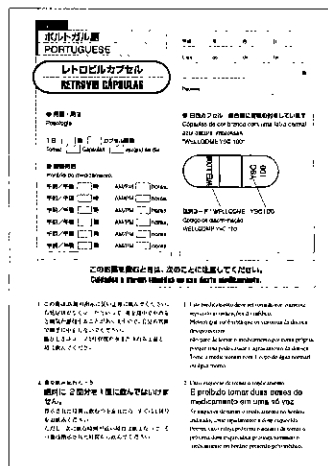
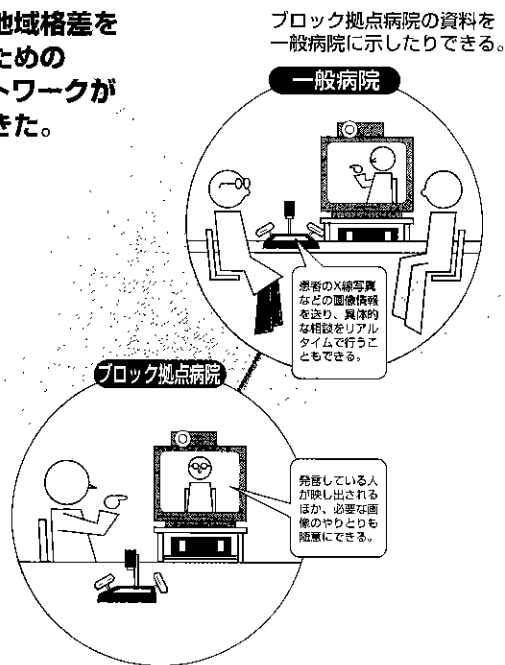
④感染者・患者が首都圏や大都市にかたよっていることなどもあり、地域による医療格差は相変わらず存在しています。そうした医療格差の改善を目指して情報ネットワークの整備が進められ、すでに遠隔医療システムが一部稼働しています。これは、症状のデータや写真による情報をテレビ画面のような機器を通してブロック拠点病院などに送り、それらのデータに基づき的確な診断や治療方針の検討などを行うというものです。

このような情報ネットワークの活用で、遠隔地でも最先端の医療が受けられるようになります。

④外国人の感染者・患者に対する的確な治療を妨げている原因の一つが、言葉の壁です。そこで現在、外国人診療を支援するための対訳マニュアルの作成、通訳養成セミナーの開催、医療者・患者対話用CD-ROMの作成などが計画されています。すでにポルトガル語、スペイン語、タイ語、英語、フランス語、中国語、ロシア語の対訳服薬指導書が完成し、CD-ROMに関しても内容の検討が始まりました。これらにより、外国人感染者・患者への対応がよりスムーズになることが期待されています。

⑤HIV感染者・患者は病氣と闘うだけでなく、世間の偏見や自身の精神的葛藤なども闘わなければなりません。また、仕事上の悩みや経済的な問題を抱えていることも多く、以前からカウンセリングの充実が求められていました。実際、医師に対する相談内容では治療内容、セルフケアなどが上位を占めているのに対して、HIVカウンセリング経験者が受けた相談内容では、社会保障・福祉制度の利用、経済的問題などが上位に位置しています。医師には相談しにくい内容をカバーしていることから、改めてカウンセリングの意義が見直され、その充実が図られようとしています。

### ④医療の地域格差を解消するための情報ネットワークが充実してきた。



### ⑤外国人のための母国語による診療をやりやすくするツールが開発されている。

左図は、ポルトガル語と日本語が対訳形式になっている服薬指導書の最新版である。

### ⑤カウンセリングの意義が見直され、その充実が図られようとしている。

●職種別 関わったテーマ上位5項目

	1位	2位	3位	4位	5位
医師	治療内容 (97.3%)	セルフケア (91.9%)	医療体制や医療従事者の対応の問題 (89.2%)	家族や友人・その他の人間関係 (89.2%)	社会保障・福祉制度の利用 (83.8%)
看護職	治療内容 (90.9%)	疾患や治療に関する心理的反応 (86.4%)	セルフケア (85.7%)	経済的問題 (76.2%)	社会保障・福祉制度の利用 (76.2%)
心理職	疾患や治療に関する心理的反応 (95.0%)	生きる意味や人生の価値 (90.0%)	家族や友人・その他の人間関係 (85.0%)	仕事上の悩み (85.0%)	セルフケア (80.0%)
福祉職	社会保障・福祉制度の利用 (92.9%)	経済的問題 (92.0%)	疾患や治療に関する心理的反応 (89.8%)	医療体制や医療従事者の対応の問題 (89.0%)	仕事上の悩み (64.7%)
派遣力カウンセラー	疾患や治療に関する心理的反応 (94.4%)	家族や友人・その他の人間関係 (88.9%)	医療体制や医療従事者の対応の問題 (83.3%)	仕事上の悩み (83.3%)	経済的問題 (77.8%)

●HIVカウンセリング経験者の受けた相談内容

1	社会保障・福祉制度の利用	82.5%
2	経済的問題	81.8%
3	疾患や治療に対する心理的反応	81.3%
4	家族や友人・その他の人間関係	75.1%
5	医療体制・医療従事者の対応の問題	74.8%
6	仕事上の悩み	71.0%
7	治療内容	68.1%
8	家族・パートナーの問題	64.3%
9	社会的偏見・差別・人権侵害	63.9%
10	生きる意味や人生の価値	60.5%

## 「感染症予防法」の序文

人類は、これまで、疾病、とりわけ感染症により、多大の苦難を経験してきた。ペスト、痘そう、コレラ等の感染症の流行は、時には文明を存亡の危機に追いやり、感染症を根絶することは、正に人類の悲願と言えるものである。

医学医療の進歩や衛生水準の著しい向上により、多くの感染症が克服されてきたが、新たな感染症の出現や既知の感染症の再興により、また、国際交流の進展等に伴い、感染症は、新たな形で、今なお人類に脅威を与えている。

一方、我が国においては、過去にハンセン病、後天性免疫不全症候群等の感染症の患者等に対するいわれのない差別や偏見が存在したという事実を重く受け止め、これを教訓として今後に生かすことが必要である。

このような感染症をめぐる状況の変化や感染症の患者等が置かれてきた状況を踏まえ、感染症の患者等の人権を尊重しつつ、これらの者に対する良質かつ適切な医療の提供を確保し、感染症に迅速かつ適確に対応することが求められている。

ここに、このような視点に立って、これまでの感染症の予防に関する施策を抜本的に見直し、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する総合的な施策の推進を図るため、この法律を制定する。

## 身体障害者手帳を取得する事によって 受けられるさまざまな福祉サービス

1. 更生医療：更生医療機関の指定
2. 更生援護施設の利用、更生訓練費の支給
3. 補装具の支給：必要に応じて車イスなど
4. 製造たばこの小売販売の許可：行政機関が福祉法人による製作品の購入に努力すること
5. 施設の利用：更生施設、療護施設、福祉ホーム、授産施設、福祉センター
6. 身体障害者居宅生活支援事業：ホームヘルパー、デイサービス、ショートステイ
7. 重度身体障害者に対する日常生活用具の給付及び貸与：内部障害者はほとんど対象とならない。
8. JR（5割引）、航空旅客運賃（25%引）、バスの割引、有料道路料金の割引（50%引）

## エイズと診断される「指標疾患」

- |  |  |  |
|--|--|--|
| ●真菌症<br>カンジダ症<br>グリプトコッカス症<br>コクシジオイデス症<br>ヒストプラズマ症<br>カリニ肺炎 | ●細菌感染症<br>化膿性細菌感染症<br>サルモネラ菌血症<br>活動性結核<br>非定型抗酸菌症       | ●腫瘍<br>カポジ肉腫<br>原発性脳リンパ腫<br>非ホジキンリンパ腫<br>浸潤性子宮頸癌         |
| ●原虫症<br>トキソプラズマ脳症<br>クリプトスポリジウム症<br>イソスポラ症                   | ●ウイルス感染症<br>サイトメガロウイルス感染症<br>単純ヘルペスウイルス感染症<br>進行性多巣性白質脳症 | ●その他<br>反復性肺炎<br>リンパ性間質性肺炎／肺リンパ過形成<br>HIV脳症<br>HIV消耗性症候群 |

## ⑤「エイズ予防法」にあった差別を 払拭した「感染症予防法」

エイズという病気が人類の前に初めて登場したのは1981年です。同性間性交渉による感染、不治の病といった衝撃的なイメージから、長い間、エイズは特殊な病気という位置づけがなされてきました。しかし、エイズだけが人類に脅威を与える感染症というわけではありません。最近では、エボラ出血熱など、新たな感染症も出現して、世界全体が再び感染症に対する警戒を深めています。

日本でもエイズだけを特別扱いせず、感染症全体を見直すべく、1998年10月に「感染症予防法」が施行されました。このなかで感染症は、一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、指定感染症及び新感染症に分類され、エイズはインフルエンザ、ウイルス性肝炎、梅毒、麻疹などととも四類感染症に定められています。このことで、従来の「エイズ予防法」にあった、特別な病気とする見方はなくなりました。

## ⑥HIV感染者が身体障害者としての 対応を受けられるようになった。

1998年1月に身体障害者福祉法施行令及び施行規則が改正され、同年4月より、HIV感染者が身体障害者として認定されるようになりました。身体障害者法第1条には、「この法律は、身体障害者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、身体障害者を援助し、及び必要に応じて保護し、もって身体障害者の福祉の増進を図ることを目的とする」とあります。HIV感染者も身体障害者と認定されることで、社会参加への道が開かれたこととなります。しかし、認定のためには都道府県知事に病名を申請しなければならず、病名が明らかになることで差別を助長するのではという恐れも、一方にはあります。この認定が感染者・患者にとって意義あるものとなるためには、社会的偏見の解消、カウンセラーなどによる心理的サポートといった周囲の環境整備がますます重要となってきます。

## ⑦エイズと診断される基準となる 「指標疾患」が決められた。

エイズは、HIVに感染してから無症状のまま、長い潜伏期間を経て発症する病気です。その診断基準が、厚生省エイズサーベイランス委員会により作成されました。それによると、真菌症、原虫症、細菌感染症、ウイルス感染症、腫瘍、その他の六種類に分類された合計23の疾患がエイズと診断するための「指標疾患」とされています。HIV感染者にこのうちのいずれかの疾患が明らかに認められると、エイズと診断され、サーベイランス委員会に報告されることになっています。最近では薬物療法の進歩で、HIVに感染してもエイズの発症を遅らせることも可能になってきました。しかし、HIV感染に気づかぬまま、突然エイズを発症するケースもまだ少なくありません。エイズの診断基準が明確になったことで、患者の早期発見にも役立つと期待されています。

# インターネットなどを通じて HIV／エイズに関する最新の医療情報や 社会的な情報などが得やすくなりました

## HIV／エイズに関するインターネットウェブサイト

- 厚生省 <http://www.mhw.go.jp/>  
エイズに限らず、さまざまな病気や医療に関する情報を見ることが  
できるホームページ。
- 国立国際医療センター／エイズ治療・研究開発センター  
<http://www.acc.go.jp/accmenu.htm>  
エイズ医療に関する最新の情報を公開している。
- 関東甲信越エイズ拠点病院ネットワーク  
<http://micws2.med.niigata-u.ac.jp/kyoten/>  
関東甲信越の拠点病院に関する情報が紹介されている。
- 近畿HIV／AIDSセンター  
<http://www.onh.go.jp/khac/>  
国立大阪病院でのHIV診療の取り組みが紹介されている。
- 中四国エイズセンター  
<http://www.aids-chushi.or.jp/>  
エイズについての総合的かつ基本的・具体的情報を掲載。
- HIV／AIDS療養マニュアル  
<http://info.med.hokudai.ac.jp/hiv>  
北海道大学医学部附属病院HIV総合医療整備委員会のホーム  
ページ。Q & A方式で治療方法や日常生活の注意などがわかる。
- HIV全国拠点病院実態調査  
<http://cares.here.ne.jp>  
1998年に実施された調査の結果などを見ることができる。
- 厚生省・エイズ治療薬研究班  
<http://www.ijinet.or.jp/aidsdrugmhw/>

- 期待されている新治療薬の情報を公開している。
- エイズ・フォーラム FAIDS  
<http://www.nifty.ne.jp/forum/faids>  
エイズに関するネットワーク、法律、裁判資料などを紹介。
- LAP(Life AIDS Project)  
<http://www.bekkoame.or.jp/lap/>  
社会的支援活動を行っているLAPのホームページ。
- ABCキルトJAPAN  
<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/FAIDS/ABCQ/>  
エイズの赤ちゃんに愛とはげましのキルトを贈る運動の情報。
- エイズ・アクション  
<http://www.bekkoame.or.jp/handson2/Action/index.html>  
HIV感染者・エイズ患者支援を目的とする団体のホームページ。
- UNAIDS=The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS  
(国連合同エイズ計画) <http://www.unaids.org/>  
HIV／エイズに関する世界規模の情報が得られる。
- HAND in HAND AIDS News Letter  
<http://www.tokyo-eiken.go.jp/AIDS/news.html>  
東京都衛生局医療福祉部エイズ対策室が運営するホームページ。
- CDC=米国疾病管理予防センター  
<http://www.cdc.gov/>  
エイズに関する統計資料や、現在行われている感染予防の情報な  
どが見られる。

AIDS UPDATE JAPAN

Vol.1, No.1 1999/5/1

### CONTENTS

●あいさつ	2
●エイズUpdateジャパン発刊にあたって	3
●Report	
公開シンポジウム～エイズ医療体制の確立を目指して～	4
エイズ予防法から感染症新薬へ	4
使いやすくなったエイズの診断薬	6
●Q&A	
動きのF A-net	8
●Study Review	
HIV-1ウイルス量とエイズへの進展の性差	9
●News	
薬剤耐性HIVの蔓延	10
●Testing	
免疫クロマトグラフィー法によるHIV抗体陽性の検出	11
●World mini News	12
●編集後記	12



厚生省エイズ治療のためのブロック拠点  
病院と拠点病院の連携に関する研究班  
主任研究者：吉崎和章  
(大阪大学腫瘍学第3部)  
全国版編纂者：高田 昇  
(広島大学医学部腫瘍学第3部)  
〒734-8551(広島市南区上野国1-2-3)  
Tel 082-257-5181, Fax 082-257-5184  
Email sakata@med3.hiroshima-u.ac.jp

<1>

## ブロック拠点病院から発信される ニュースレター

HIV／エイズに関する最新の情報が「ニュースレター」として全国  
に流通することになりました。

これは、広島大学医学部附属病院などをブロック拠点病院とする中  
国四国ブロックで発行されていた「中四国エイズセンターニュースレ  
ター」の、いわば全国版です。「中四国エイズセンターニュースレター」  
は、当のブロック内で好評であったばかりでなく、それぞれのブロッ  
ク拠点病院でも注目されていました。そこで「エイズ治療の地方ブロッ  
ク拠点病院と拠点病院間の連携に関する研究」班の研究活動の一環  
として、すべてのブロックでこのようなニュースレターを発行しよう  
というものです。

紙面の前半を全国的なニュース、後半をそれぞれのブロックに特異  
的な地域ニュースという構成にして、全国的な情報のほか、地域に根  
ざした身近で利用度の高い話題や情報を提供しようとしています。

タイトルは「エイズUpdateジャパン」で、前半の「全国版」  
は広島の中四国エイズセンターで編集し、それを各ブロック事務局に  
送り、各ブロックで後半を編集してつなぎ合わせ、一冊として印刷す  
るという方法をとっています。

読者は医療関係者に限定することなく、患者さんや周囲の人たち  
にも届くことを発行側は望んでいます。

# ブロック拠点病院がかかえている 地域に特異的な問題を浮かび上げさせ その解決策を実行しつつあります

## 北海道ブロック

### 問題点

広域医療における患者治療の迅速化と診療ネットワークの構築

### 解決策

遠隔医療システムの確立と人的ネットワークの構築

## 東北ブロック

### 問題点

患者の守秘不安による首都圏病院への遠隔治療

### 解決策

地元病院に対する信頼の確立  
意識改革へのエイズ教育の普及

## 関東甲信越ブロック

### 問題点

同一ブロック内での診療レベルの多大な格差  
患者の首都圏への集中

### 解決策

首都圏ブロックの新設  
地元病院に対する信頼の確立  
意識改革へのエイズ教育の普及

## 北陸ブロック

### 問題点

患者の守秘不安による大阪・首都圏病院への遠隔治療  
県ごとの独立性によるブロック内統一行動の困難

### 解決策

地元病院に対する信頼の確立  
意識改革へのエイズ教育の普及  
厚生省、班からの外部指導

## 東海ブロック

### 問題点

外国人患者診療の困難性

### 解決策

各国語診療マニュアルの作成  
外国人のための通訳の養成

## 近畿ブロック

### 問題点

拠点病院への情報提供  
研修受け入れ体制の確立  
包括的診療と患者へのトータルケアの実施

### 解決策

ホームページの充実  
専門医療従事者の確保・教育  
チーム医療システムの構築と連携の強化

## 中国四国ブロック

### 問題点

拠点病院のケア提供者のHIV感染症についての知識・意識レベルの向上

### 解決策

ケア提供者の分野別教育・研修カリキュラムの作成  
ニュースレター、インターネットを通じた情報の伝達

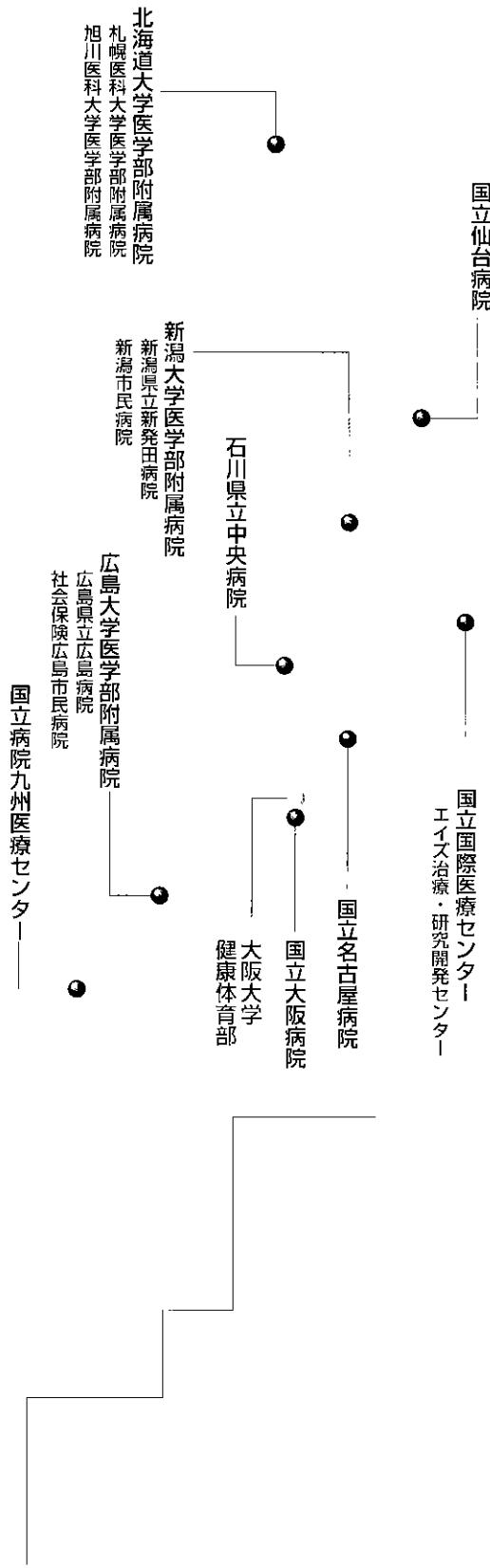
## 九州ブロック

### 問題点

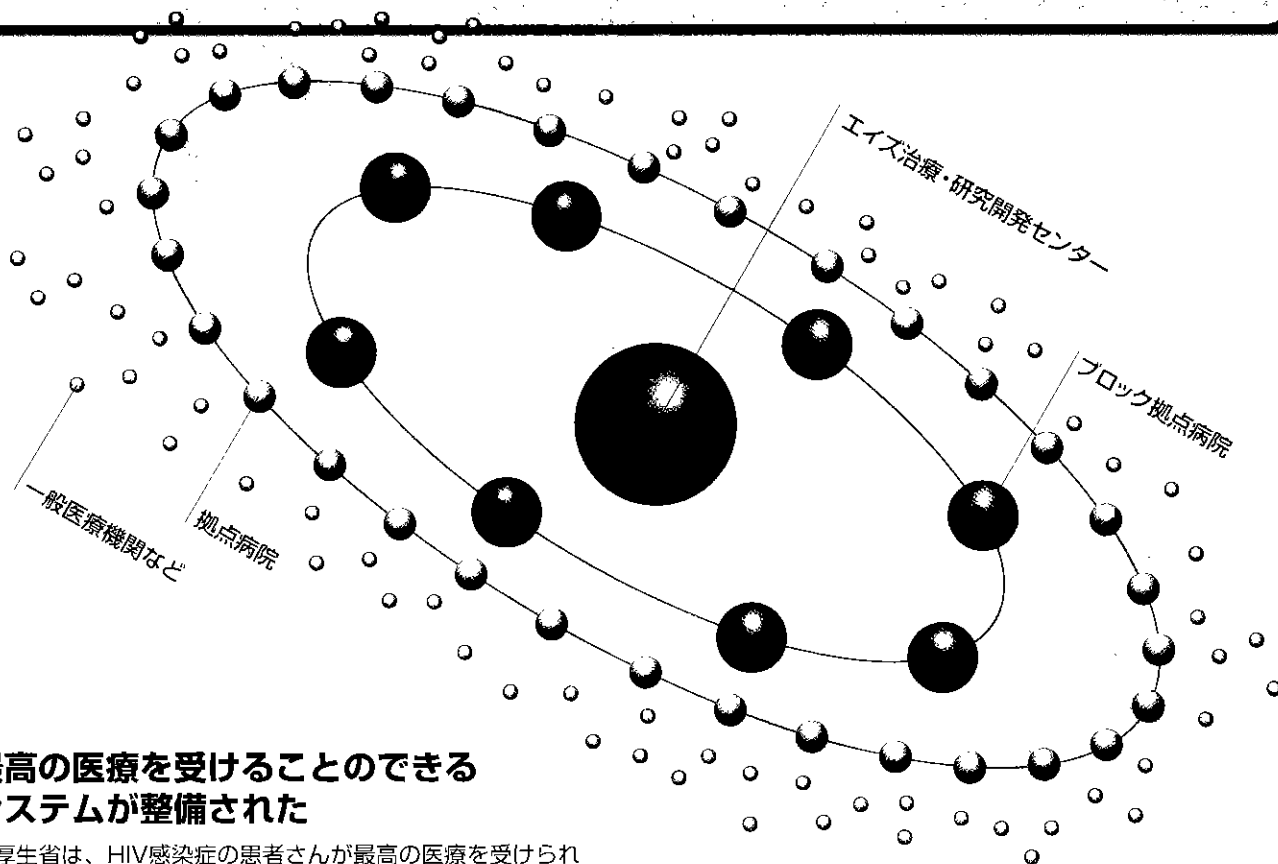
離島が多い広域医療における患者治療の迅速化と患者輸送  
沖縄地区の米軍基地存在による特殊問題  
患者自身による病状の把握

### 解決策

患者輸送方法の確立  
感染者実態把握対策  
HIV診療手帳の作成



## エイズ医療におけるブロック拠点病院の位置づけとその役割が明確になってきています



### 最高の医療を受けることのできるシステムが整備された

厚生省は、HIV感染症の患者さんが最高の医療を受けられるよう、国立国際医療センター内にエイズ治療・研究開発センター（臨床研究開発部長・岡慎一）を置くとともに、どの地域においても高度な医療を受けることのできるシステムを構築してきました（エイズ診療のあり方に関する研究班＝主任研究者・南谷幹夫）。そして各都道府県に、エイズ医療に積極的に取り組む「拠点病院」を平成10年度までに合計364か所選定し、さらに全国を、北海道、東北、関東甲信越、北陸、東海、近畿、中国四国、九州の計8ブロックに分け、それぞれのブロックにエイズ医療の核となる「ブロック拠点病院」を選定してきました。

### ブロック拠点病院でエイズ医療の問題点を把握する

そして今、各地域のブロック拠点病院では、拠点病院との連携を強めながら、地域間格差をなくし、エイズ医療の質を高めようとしています。そのようなブロック拠点病院のあり方を具体的なものにしていくために、「エイズ診療の地方ブロック拠点病院と拠点病院間の連携に関する研究」班（主任研究者・吉崎和幸）は、ブロック拠点病院の自己評価やアンケートなどの調査による、エイズ医療の現時点における問題点の把握や、その解決策の検討などを行ってきました

それぞれのブロック拠点病院における人的体制、施設・設備、診療・機能、拠点病院との連携といったテーマに基づく調査・検討から、エイズ医療のさまざまな問題が浮き彫りにされてきています（8～11ページ参照）。

#### ●人的体制について

エイズ医療に取り組むには、医師はもちろん、看護婦、カ

ウンセラーなどを含めた専任の医療スタッフによる「チーム医療」が必要とされます。それがどこまで現実のものとなっているかが問題です。

#### ●施設・設備について

HIV感染症の患者さんの場合、医療現場におけるプライバシーは特に配慮されなければなりません。いまだに患者さんに対する差別と偏見があり、治療が受けにくくなる恐れもあるからです。個室の外来診療室やカウンセリングルームといった施設はもちろんのこと、検査機器や診療機器などの各種設備や、病院間の情報ネットワークの整備なども重要な課題となっています。

#### ●診療・機能について

ブロック拠点病院における、HIV・エイズに対する検査および治療体制の確立は急務です。そのための診療マニュアルや投薬マニュアルの作成、エイズ研修会、症例検討会等の開催も急増しています。治療において大きな意味を持つ検査の面でも、ウイルス量の定量検査、ウイルス薬剤耐性検査を実施する施設が増えています。一方、院内感染予防のためのマニュアル作りも進んでいます。

#### ●拠点病院との連携・ブロック内医療向上について

ブロック拠点病院が指導的役割を果たす意味でも、拠点病院との連携やブロック内の医療向上を進める必要があります。インターネット、ホームページ、ニュースレターなどによる拠点病院への情報提供、各種講習会や研修会の開催などのほか、遠隔医療システムの導入など、連携の強化と医療向上にはさまざまな手段が講じられています。

# ブロック拠点病院は自己評価で確認しながら エイズ医療体制の確立を目指しています

## ①人的体制

エイズに専門的に  
対応できる  
医療関係者の数

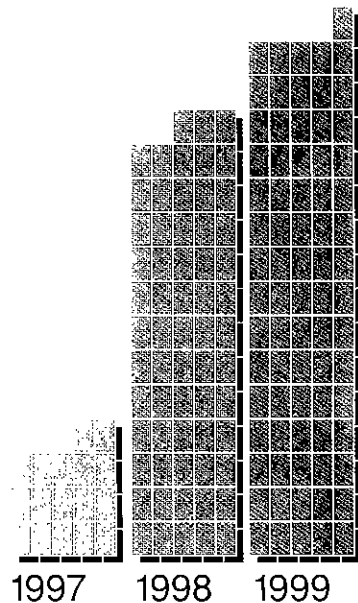
●全国 \*1  
17人 63人 76人

\*1

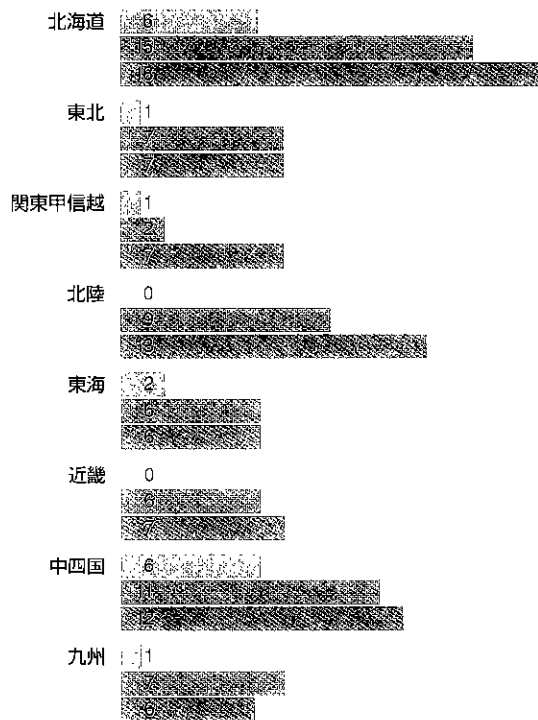
次の関係者の合計人数

- ・専門医師
- ・専門看護婦
- ・カウンセラー
- ・情報担当者
- ・レジデント

97年度のポイント  
98年度のポイント  
99年度のポイント



●各ブロック \*1



医療職員、一般職員の  
対応レベルを  
5段階で評価する

●全国 \*2  
78.75% 91.25% 92.50%

\*2

2項目×5段階評価×8病院=80ポイントのうちどの程度か(%)

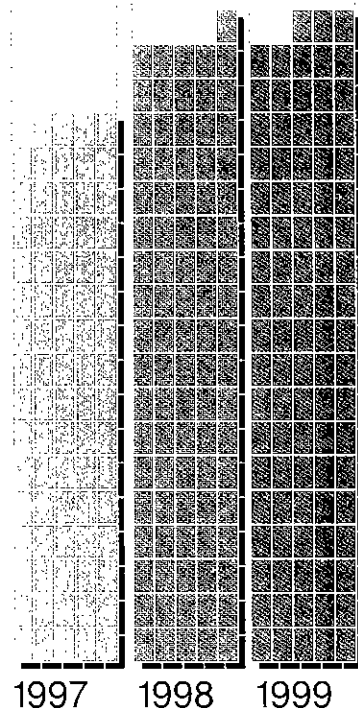
\*3

各ブロック=2項目×5段階評価=10ポイントのうち何ポイントか

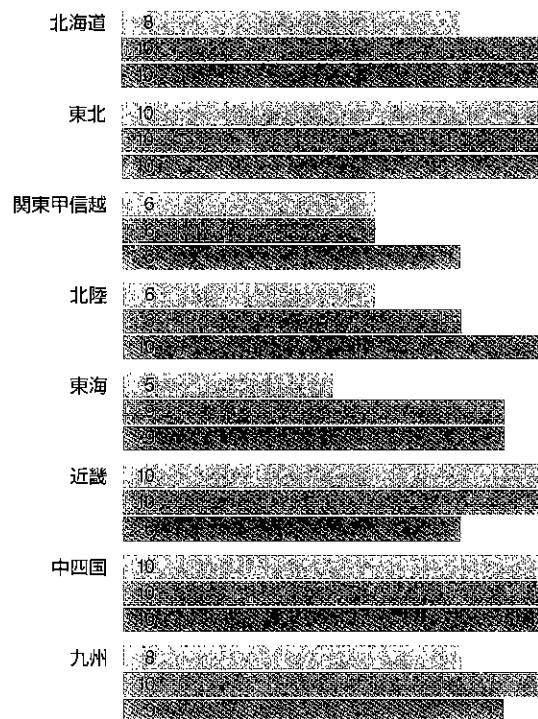
◆2項目

- ・全科(医療職)対応
- ・院内一般職員の対応

97年度のポイント  
98年度のポイント  
99年度のポイント



●各ブロック \*3





## ②施設・設備

### HIV感染者に対する 対応施設があるかどうか

\*4

9項目×8病院=72ポイントのうち  
どの程度か(%)

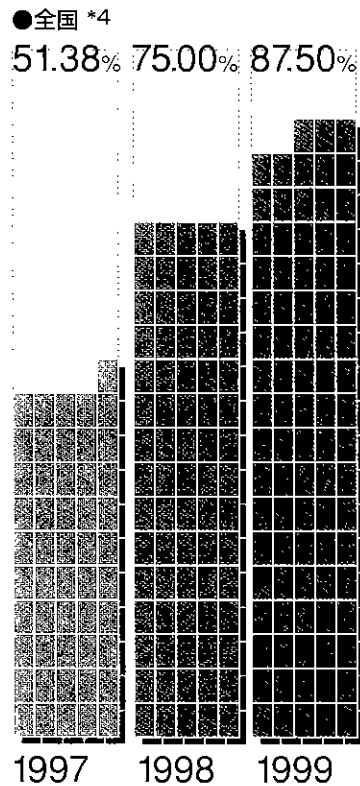
\*5

各ブロック=9項目=9ポイントの  
うち何ポイントか

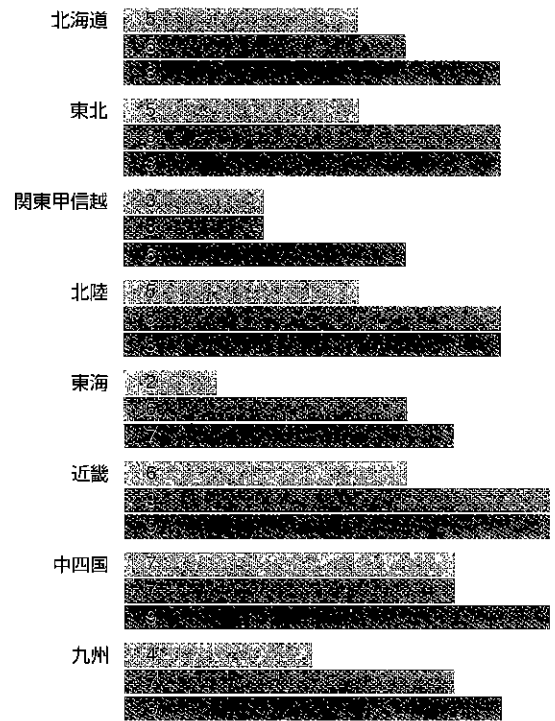
◆9項目

- ・ 専門外来の設置
- ・ 個室の外来診療室の有無
- ・ 外来でのカウンセリングルームの有無
- ・ 外来でのペンタミジン吸入室の有無
- ・ 外来での気管支鏡検査室の有無
- ・ 外来での観血的処置室の有無
- ・ 外来での歯科診療室の有無
- ・ 専門病棟個室の有無
- ・ 病棟でのカウンセリングルームの確保

1977年度のポイント  
1978年度のポイント  
1979年度のポイント



●各ブロック \*5



### 対応設備が どこまで整備されているか 5段階で評価する

\*6

8項目×5段階評価×8病院=320  
ポイントのうちどの程度か(%)

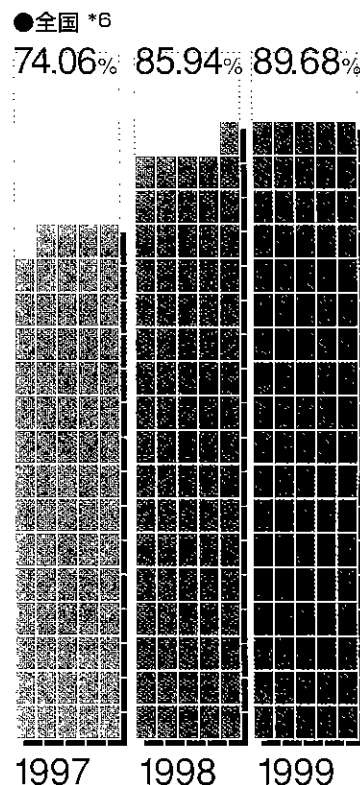
\*7

各ブロック=8項目×5段階評価=  
40ポイントのうち何ポイントか

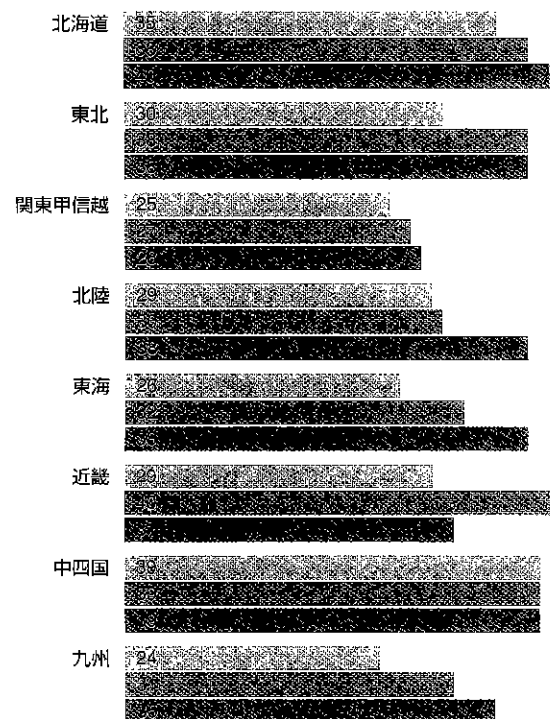
◆8項目

- ・ 入院病棟の確保
- ・ 入院でのプライバシーの対策
- ・ 緊急入院対応
- ・ 診療に要する機器の整備
- ・ 検査に要する機器の整備
- ・ 情報交換用コンピューター
- ・ 感染者に対する手術室対応
- ・ 感染者に対する病理解剖室対応

1977年度のポイント  
1978年度のポイント  
1979年度のポイント



●各ブロック \*7



# エイズ医療の質を高めるとともに 拠点病院との連携を さらに深めようとしています。

## ③診療・機能

**診療・投薬マニュアルの作成  
など  
HIV・エイズに対する検査・治療  
体制が整っているかどうか**

\*8  
16項目×8病院=128ポイントのうちどの程  
度か(%)

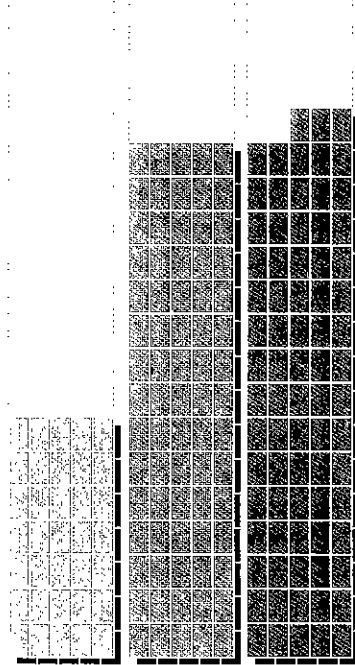
\*9  
各ブロック=16項目=16ポイントのうち何  
ポイントか

◆16項目

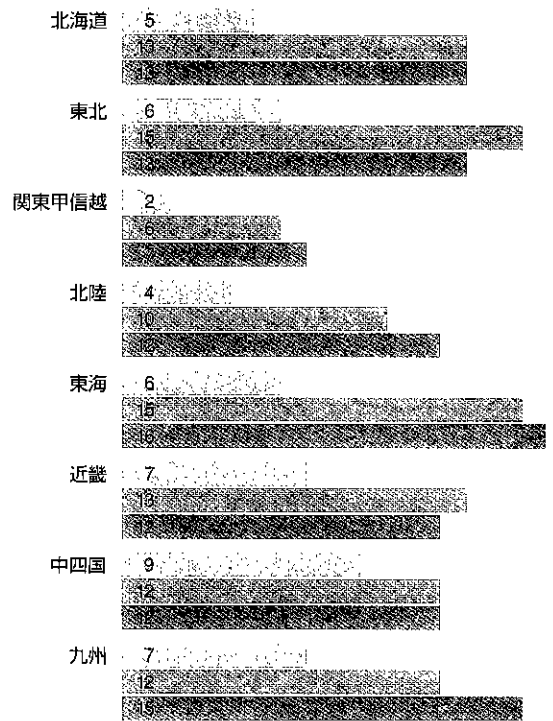
- ・各種診療部参加による院内エイズ診療対策  
中央委員会
- ・外国人用診療マニュアル
- ・診療マニュアルの作成
- ・投薬マニュアルの作成
- ・個々の患者治療に対する検討会
- ・HIV抗体検査(ウエスタンブロットを含む)
- ・CD4/CD8陽性細胞検査
- ・ウイルス量の定量
- ・ウイルス薬物耐性検査
- ・カリニの迅速診断
- ・日和見感染症のPCR診断等
- ・針刺し事故の防止マニュアルの作成
- ・針刺し事故に対する体制の確立
- ・治療薬の常時設置
- ・患者データの統一管理
- ・歯科専門診療

97年度のポイント  
98年度のポイント  
99年度のポイント

●全国 \*8  
35.15% 75.00% 78.12%



●各ブロック \*9



**患者・感染者への  
対応がどこまで  
改善されているか**

\*10  
3項目×5段階評価×8病院=120  
ポイントのうちどの程度か(%)

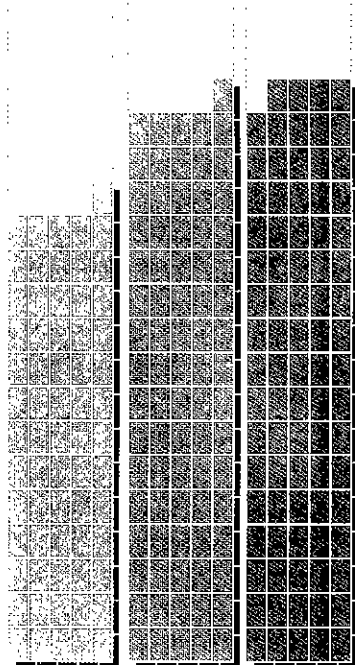
\*11  
各ブロック=3項目×5段階評価=  
15ポイントのうち何ポイントか

◆3項目

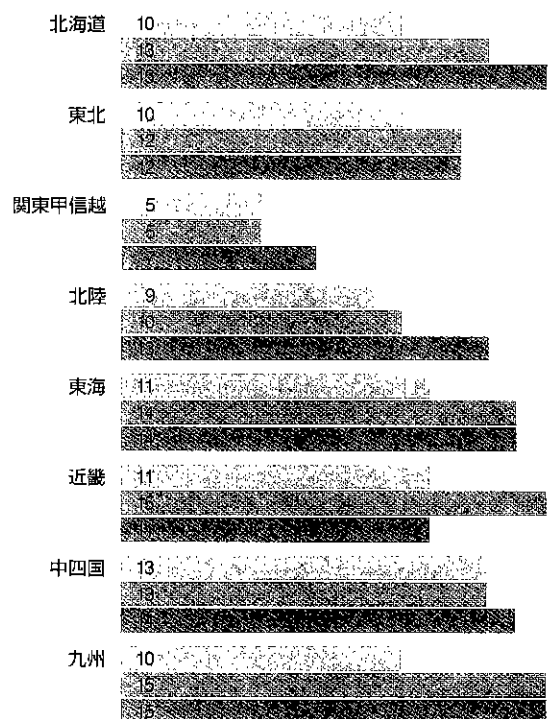
- ・看護医療の満足度
- ・カウンセラーの配置度
- ・守秘義務意識の徹底度

97年度のポイント  
98年度のポイント  
99年度のポイント

●全国 \*10  
65.83% 80.83% 84.17%



●各ブロック \*11



#### ④ 拠点病院との連携

##### 拠点病院への情報提供はどの程度行われているか

\*12

4項目×5段階評価×8病院=160ポイントのうちどの程度か(%)

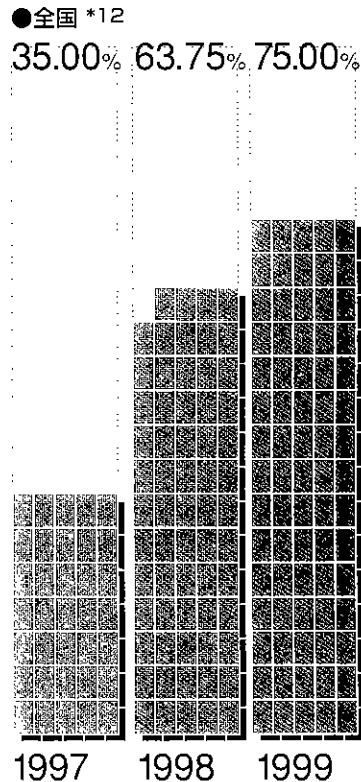
\*13

各ブロック=4項目×5段階評価=20ポイントのうち何ポイントか

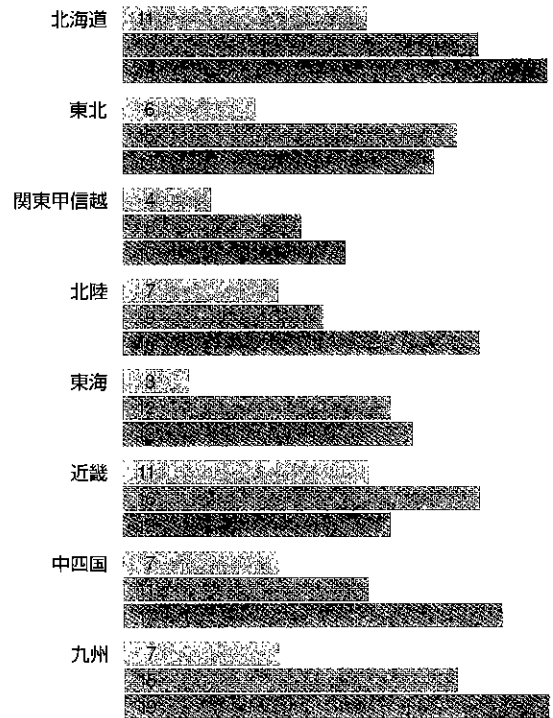
◆4項目

- ・拠点病院への情報提供（インターネット、ホームページ等の作成）
- ・拠点病院への情報提供（印刷物、マニュアル、ニュース等）
- ・他の拠点病院からの研修受入体制
- ・拠点病院との患者診療交換

97年度のポイント  
98年度のポイント  
99年度のポイント



●各ブロック \*13



#### ⑤ ブロック内医療向上

##### ブロック内診療ネットワークの立ち上げなどブロック内の体制がどの程度確立しているか

\*14

3項目×8病院=24ポイントのうちどの程度か(%)

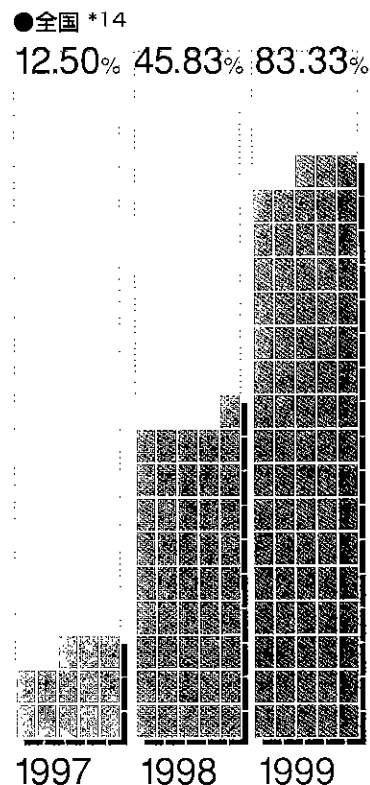
\*15

各ブロック=3項目=3ポイントのうち何ポイントか

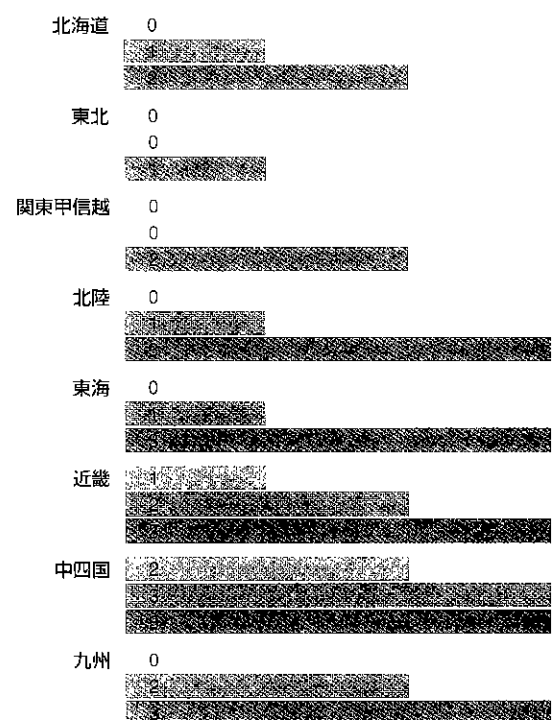
◆3項目

- ・ブロック内診療ネットワークの立ち上げ
- ・コーディネーターナースの研修
- ・患者手帳の作成

97年度のポイント  
98年度のポイント  
99年度のポイント



●各ブロック \*15



# ブロック拠点病院と 各ブロックの拠点病院一覧

## 北海道



北海道ブロックは、広大な地域にHIV感染者が分散していることや、感染者数が少ないことなどの特徴を持っており、それが全病的なHIV診療体制の整備の遅れをもたらしていたが、ブロック拠点病院を中心に、各拠点病院におけるHIV診療体制の整備充実を図っている。

### ★ブロック拠点病院

- 北海道大学医学部附属病院  
北海道札幌市中央区北14条西5  
☎011-716-1161
- 札幌医科大学医学部附属病院  
北海道札幌市中央区南1条西16  
☎011-611-2111
- 旭川医科大学医学部附属病院  
北海道旭川市西神楽4線5-3-11  
☎0166-65-2111
- ☆拠点病院
- 市立札幌病院  
北海道札幌市中央区北13条西13  
☎011-726-2211
- 国立札幌病院  
北海道札幌市西区菊田4条2  
☎011-811-9111
- 国立療養所札幌南病院  
北海道札幌市南区石山1814  
☎011-596-2211
- 市立小樽病院  
北海道小樽市若松1-2-1  
☎0134-25-1211
- 国立療養所道北病院  
北海道旭川市花咲町7  
☎0166-51-3161
- 市立旭川病院  
北海道旭川市全宗町1-1-65  
☎0166-24-3181
- 旭川赤十字病院  
北海道旭川市略1条1丁目  
☎0166-22-8111
- 厚生連総合病院旭川厚生病院  
北海道旭川市 条通24丁目  
☎0166-33-7171
- 厚生連総合病院帯広厚生病院  
北海道帯広市西六条南8-1  
☎0155-24-4161
- 市立釧路総合病院  
北海道釧路市春湖台1-12  
☎0154-41-6121
- 総合病院釧路赤十字病院  
北海道釧路市新栄町21-14  
☎0154-22-7171
- 総合病院北見赤十字病院  
北海道北見市北六条東2-1  
☎0157-24-3115
- 北海道立紋別病院

北海道紋別市緑線5-6-8

- ☎01582-4-3111
- 市立函館病院  
北海道函館市弥生町2-33  
☎0138-23-8651
- 北海道立江差病院  
北海道檜山郡江差町字伏木町484  
☎01395-2-0036
- 釧路労災病院  
北海道釧路市中央町13-23  
☎0154-22-7191

## 東北



東北ブロックは薬害HIV感染者以外の感染者報告はきわめて少なく、しかも薬害HIV感染者の診療は特定の施設でのみ行われていたため、エイズ治療体制の確立は遅れていたが、ブロック拠点病院と拠点病院が連携を深めながら、体制の確立に取り組んでいる。

### ★ブロック拠点病院

- 国立仙台病院  
宮城県仙台市青葉区宮城野2-8-8  
☎022-293-1111
- ☆拠点病院
- 弘前大学医学部附属病院  
青森県弘前市本町53  
☎0172-33-5111
- 青森県立中央病院  
青森県青森市東通2-1-1  
☎0177-26-8111
- 八戸市立市民病院  
青森県八戸市大字町字堤洲町1  
☎0178-72-5111
- 国立弘前病院  
青森県弘前市宮野町1  
☎0172-32-4311
- 岩手医科大学医学部附属病院  
岩手県盛岡市内丸19-1  
☎019-651-5111
- 岩手県立中央病院  
岩手県盛岡市日田4-1  
☎019-653-1151
- 国立療養所盛岡病院  
岩手県盛岡市青山1-25-1  
☎019-647-2195
- 国立療養所若手病院  
岩手県一関市山王字湖山山下48  
☎0191-25-2221
- 国立療養所西多賀病院  
宮城県仙台市太白区鉤取本町2-11-11  
☎022-245-2111
- 国立療養所宮城病院  
宮城県亶理郡亶理町高瀬字合戦原100  
☎0223-37-1131
- 東北大学医学部附属病院

宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

- ☎022-717-7000
- 東北大学加齢医学研究所附属病院  
宮城県仙台市青葉区星陵町4-1  
☎022-717-8500
- 宮城県立瀬峰病院  
宮城県栗原郡瀬峰町人生字富根岸55-2  
☎0228-38-3151
- 宮城県立がんセンター  
宮城県名取市愛島塩手字柳山147-1  
☎022-384-3151
- 仙台市立病院  
宮城県仙台市若林区清水小路3-1  
☎022-266-7111
- 秋田大学医学部附属病院  
秋田県秋田市本道1-1-1  
☎0188-34-1111
- 大館市立総合病院  
秋田県大館市豊町3-1  
☎0186-42-5370
- 平鹿総合病院  
秋田県横手市駅前町1-30  
☎0182-32-5121
- 山形大学医学部附属病院  
山形県山形市蔵内西2-2-2  
☎0236-33-1122
- 山形県立中央病院  
山形県山形市蔵内7-17  
☎0236-23-4011
- 山形県立新庄病院  
山形県新庄市若菜町12-55  
☎0233-22-5525
- 山形県立河北病院  
山形県西村山郡河北町谷地字川山堂111  
☎0237-73-3131
- 山形市立病院済生館  
山形県山形市七丁目1-3-26  
☎0236-25-5555
- 米沢市立病院  
山形県米沢市南門1-6-36  
☎0238-22-2450
- 鶴岡市立柱内病院  
山形県鶴岡市馬場町2-1  
☎0235-22-1515
- 山形県立日本海病院  
山形県酒田市あきほ町30  
☎0234-26-2001
- 福島県立医科大学附属病院  
福島県福島市光が丘1  
☎0245-48-2111
- (財)太田総合病院附属太田西ノ内病院  
福島県郡山市西ノ内2-5-20  
☎0249-25-1188
- (財)太田総合病院附属太田熱海病院  
福島県郡山市熱海町熱海5-240  
☎0249-84-0088
- 国立郡山病院  
福島県郡山市字上丸山1-1  
☎0249-32-1105
- 公立岩瀬病院  
福島県須賀川市北町20  
☎0248-75-3111
- 福島県立会津総合病院  
福島県会津市横町114  
☎0248-22-2211
- 福島県立会津総合病院  
福島県会津若松市城前10-75  
☎0242-27-2151
- (財)竹田総合病院

福島県会津若松市山鹿町3-27

- ☎0242-27-5511
- いわき市立総合磐城共立病院  
福島県いわき市内郷御城町久世原16  
☎0246-26-3151
- 労働福祉事業団福島労災病院  
福島県いわき市内郷御城町3  
☎0246-26-1111
- 社団(医)呉羽会呉羽総合病院  
福島県いわき市錦町落合1-1  
☎0246-63-2181
- (財)湯浅報恩会寿泉堂総合病院  
福島県郡山市駅前1-8-16  
☎0249-32-6363
- (財)白楡会総合会津中央病院  
福島県会津若松市鶴宮町1-1  
☎0242-25-1515

## 関東甲信越



関東甲信越ブロックは、エイズ患者・HIV感染者が最も多く集中している東京周辺と、患者・感染者数の少ない新潟県との間の格差が大きかったが、新潟県に設けたブロック拠点病院を中心とした情報ネットワークの立ち上げなどにより、地域格差を解消しようとしている。

### ★ブロック拠点病院

- 新潟大学医学部附属病院  
新潟県新潟市旭町通1-754  
☎025-223-6161
- 新潟市立病院  
新潟県新潟市桑畑2-6-1  
☎025-241-5151
- 新潟県立新発田病院  
新潟県新発田市大字町4-5-48  
☎0254-22-3121
- ☆拠点病院
- 筑波大学医学部附属病院  
茨城県つくば市天久保2-1-1  
☎0298-53-3900
- 国立霞ヶ浦病院  
茨城県上浦市下宮部2-7-14  
☎0298-22-5050
- 総合病院土浦協同病院  
茨城県土浦市(磯新町)11-7  
☎0298-23-3111
- 東京医科大学霞ヶ浦病院  
茨城県稲敷郡阿見町中央3-20-1  
☎0298-87-1161
- 茨城県立中央病院  
茨城県西茨城郡友部町豊満6528  
☎0296-77-1121
- 国立水戸病院  
茨城県水戸市東原3-2-1  
☎029-231-5211
- 国立療養所晴嵐荘病院

茨城県那珂市東海科照信2825  
☎029-282-1151  
●総合病院水戸赤十字病院  
茨城県水戸市三の丸3-12-48  
☎029-221-5177  
●茨城西南医療センター病院  
茨城県猿島郡境町2190  
☎0280-87-8111  
●国立栃木病院  
栃木県宇都宮市中央1-10-37  
☎028-622-5241  
●済生会宇都宮病院  
栃木県宇都宮市竹林町911-1  
☎028-626-5500  
●自治医科大学附属病院  
栃木県河内郡南河内町薬師33311-1  
☎0285-44-2111  
●芳賀赤十字病院  
栃木県真岡市古町2461  
☎0285-82-2195  
●獨協医科大学病院  
栃木県下都賀郡壬生町北小林880  
☎0282-86-1111  
●大田原赤十字病院  
栃木県大田原市古町2-7-3  
☎0287-23-1122  
●足利赤十字病院  
栃木県足利市本城3-2100  
☎0284-21-0121  
●国立療養所東宇都宮病院  
栃木県河内郡河内町下河本2160  
☎028-673-2111  
●栃木県立がんセンター  
栃木県宇都宮市陽南4-9-13  
☎028-658-5151  
●栃木県立岡本台病院  
栃木県河内郡河内町下河本2162  
☎028-673-2211  
●群馬大学医学部附属病院  
群馬県前橋市和利町3-39-15  
☎027-220-7111  
●国立高崎病院  
群馬県高崎市高松町36  
☎027-322-5901  
●前橋赤十字病院  
群馬県前橋市朝川町3-21-36  
☎027-224-4585  
●国立療養所西群馬病院  
群馬県渋川市金井2854  
☎0279-23-3030  
●埼玉医科大学附属病院  
埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38  
☎0492-76-1111  
●防衛医科大学校病院  
埼玉県所沢市並木3-2  
☎042-995-1511  
●自治医大附属大宮医療センター  
埼玉県大宮市大宮1-847  
☎048-647-2111  
●国立西埼玉中央病院  
埼玉県所沢市岩塚2-1671  
☎042-948-1111  
●国立療養所東埼玉病院  
埼玉県越前町黒沢4147  
☎048-768-1161  
●国立埼玉病院  
埼玉県和光市諏訪2-1  
☎048-462-1101  
●千葉県立東金病院  
千葉県東金市台1229  
☎0475-54-1531  
●総合病院国保旭中央病院  
千葉県旭市イ1326  
☎0479-63-8111  
●国立千葉病院  
千葉県千葉市中央区椿森4-1-2  
☎043-251-5311  
●国立療養所千葉東病院  
千葉県千葉市中央区イ1名町673  
☎043-261-5171  
●千葉大学医学部附属病院  
千葉県千葉市中央区多岐1-8-1  
☎043-222-7171  
●鉄蕉会亀田総合病院  
千葉県船橋市東町929  
☎0470-92-2211  
●国保直営総合病院君津中央病院

千葉県東茨城市桜井1010  
☎0438-36-1071  
●東京都立広尾病院  
東京都渋谷区恵比寿2-34-10  
☎03-3444-1181  
●東京都立大久保病院  
東京都新宿区歌舞伎町2-44-1  
☎03-5273-7711  
●東京都立大塚病院  
東京都豊島区南大塚2-8-1  
☎03-3941-3211  
●東京都立駒込病院  
東京都文京区本郷込3-18-22  
☎03-3823-2101  
●東京都立荏原病院  
東京都大田区東雲谷4-5-10  
☎03-5734-8000  
●東京都立墨東病院  
東京都墨田区江東橋4-23-15  
☎03-3633-6151  
●東京都立府中病院  
東京都府中市武蔵台2-9-2  
☎042-323-5111  
●(財)東京都保健医療公社東部地域病院  
東京都葛飾区亀有5-14-1  
☎03-5682-5111  
●(財)東京都保健医療公社多摩南部地域病院  
東京都多摩市中央2-1-2  
☎042-338-5111  
●国立国際医療センター  
東京都新宿区戸山1-21-1  
☎03-3202-7181  
●国立病院東京医療センター  
東京都目黒区東が丘2-5-1  
☎03-3411-0111  
●国立療養所東京病院  
東京都葛飾区竹竹3-1-1  
☎0424-91-2111  
●公立昭和三井病院  
東京都小平市天神町2-450  
☎0424-61-0052  
●青梅市立総合病院  
東京都青梅市東青梅4-16-5  
☎0428-22-3191  
●日本赤十字社医療センター  
東京都渋谷区広尾4-1-22  
☎03-3400-1311  
●武蔵野赤十字病院  
東京都武蔵野市境南町1-26-1  
☎042-232-3111  
●杏林大学医学部附属病院  
東京都三鷹市新川6-20-2  
☎0422-47-5511  
●順天堂大学医学部附属病院  
東京都文京区本郷3-1-3  
☎03-3813-3111  
●昭和大学病院  
東京都品川区旗の台1-5-8  
☎03-3784-8000  
●東京医科大学病院  
東京都新宿区西新宿6-7-1  
☎03-3342-6111  
●昭田市民病院  
東京都昭田市新旭町2-15-41  
☎042-722-2230  
●東京大学医学部附属病院  
東京都文京区本郷7-3-1  
☎03-3815-5411  
●東京医科歯科大学医学部附属病院  
東京都文京区湯島1-5-45  
☎03-3813-6111  
●慶應義塾大病院  
東京都新宿区信濃町35  
☎03-3353-1211  
●帝京大学医学部附属病院  
東京都板橋区加賀2-11-1  
☎03-3964-1211  
●東京慈恵会医科大学附属病院  
東京都墨田区西新橋3-19-18  
☎03-3433-1111  
●東邦大学医学部附属大森病院  
東京都大田区大森西4-6-11-1  
☎03-3762-4151  
●日本大学医学部附属板橋病院  
東京都板橋区大谷1丁目30-1  
☎03-3972-8111

●日本医科大学附属病院  
東京都文京区千駄木1-1-5  
☎03-3822-2131  
●東京都老人医療センター  
東京都板橋区深田35-2  
☎03-3964-1141  
●東京都多摩老人医療センター  
東京都東村山市青葉町1-7-1  
☎042-396-3811  
●東京大学医学部研究所附属病院  
東京都港区白金台4-6-1  
☎03-3443-8111  
●東海大学医学部附属東京病院  
東京都渋谷区代々木1-2-5  
☎03-3370-2321  
●東京女子医科大学病院  
東京都新宿区河田町8-1  
☎03-3353-8111  
●(医)財団救済病院  
東京都杉並区今川3-1-24  
☎03-3399-1101  
●国家公務員共済組合連合会立川病院  
東京都立川市錦町4-2-22  
☎042-523-1313  
●社会保険中央総合病院  
東京都新宿区百人町3-22-1  
☎03-3364-0251  
●聖路加国際病院  
東京都中央区明石町9-1  
☎03-3541-5151  
●日本大学医学部附属駿河台病院  
東京都千代田区神田駿河台1-8-13  
☎03-3293-1711  
●日本医科大学附属多摩永山病院  
東京都多摩市永山11-7-1  
☎042-371-2111  
●神奈川県立厚木病院  
神奈川県厚木市本町1-16-36  
☎0462-21-1570  
●神奈川県立足柄上病院  
神奈川県足柄上郡松田町惣領866-1  
☎0465-83-0351  
●横浜市立市民病院  
神奈川県横浜市長保土ヶ谷区岡沢町56  
☎045-331-1961  
●神奈川県立子ども医療センター  
神奈川県横浜市中区六ツ川2-138-4  
☎045-711-2351  
●横浜市立大学医学部附属病院  
神奈川県横浜市金沢区裾田3-9  
☎045-787-2800  
●神奈川県衛生看護専門学校附属病院  
神奈川県横浜市磯子区汐見台1-6-5  
☎045-761-3581  
●川崎市立川崎病院  
神奈川県川崎市磯子区新川通12-1  
☎044-233-5521  
●津久井赤十字病院  
神奈川県津久井郡津久井町中野256  
☎0427-84-1101  
●国立横浜病院  
神奈川県横浜市中区原宿町252  
☎045-851-2621  
●聖マリアナ医科大学病院  
神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1  
☎044-977-8111  
●川崎市立井田病院  
神奈川県川崎市中原区井田2-27-1  
☎044-766-2188  
●東海大学医学部附属病院  
神奈川県伊勢原市下瀬143  
☎0463-93-1121  
●秦野赤十字病院  
神奈川県秦野市桜町1-4-5  
☎0463-81-3721  
●国立相模原病院  
神奈川県相模原市桜台18-1  
☎042-742-8311  
●北里大学病院  
神奈川県相模原市北里1-15-1  
☎0427-78-8111  
●横浜市立大学医学部附属浦舟病院  
神奈川県横浜市中南区浦舟町3-46  
☎045-261-5656  
●国立療養所西新潟中央病院  
新潟県新潟市東区1-14-1  
☎025-265-3171

●総合病院長岡赤十字病院  
新潟県長岡市寺町297-1  
☎0258-28-3600  
●山梨医科大学医学部附属病院  
山梨県甲府市玉穂町下河東1110  
☎0552-73-1111  
●国立甲府病院  
山梨県甲府市天神町11-35  
☎0552-53-6131  
●山梨県立中央病院  
山梨県甲府市富士見1-1-1  
☎0552-53-7111  
●市立甲府病院  
山梨県甲府市幸町14-6  
☎0552-33-7101  
●富士吉田市立病院  
山梨県富士吉田市緑が丘2-8-1  
☎0555-22-4111  
●都留市立病院  
山梨県都留市つる5-1-55  
☎0554-45-1811  
●大月市立中央病院  
山梨県大月市大月町桜吹1225  
☎0554-22-1251  
●韮崎市立病院  
山梨県韮崎市本町3-5-3  
☎0551-22-1221  
●山梨赤十字病院  
山梨県都留郡都留市湖川町新橋6663-1  
☎0555-72-2222  
●長野県立須坂病院  
長野県須坂市大字須坂1332  
☎026-245-1650  
●信州大学医学部附属病院  
長野県松本市市地3-1-1  
☎0263-35-4600  
●国立松本病院  
長野県松本市芳井町井田1209  
☎0263-58-4567  
●国立長野病院  
長野県上田市緑が丘1-27-21  
☎0268-22-1890  
●長野県厚生農業協同組合連合会久慈総合病院  
長野県南佐久郡川上町大字川上1197  
☎0267-82-3131  
●飯田市立病院  
長野県飯田市大南町438  
☎0265-21-1255  
●長野赤十字病院  
長野県長野市若里1512-1  
☎026-226-4131  
●諏訪赤十字病院  
長野県諏訪市小瀬町19-5  
☎0266-52-6111

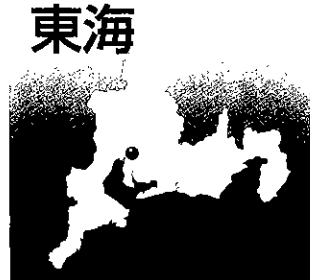
## 北陸



北陸ブロックは、HIV感染者数が少なくエイズ治療体制も不十分だったが、ブロック拠点病院を中心に医師等が国内研修を行うことなどによってHIV診療の向上を図る一方、拠点病院との連携を深める方法を探りながら、全体的にエイズ治療体制の確立を期している。

★ブロック拠点病院  
●石川県立中央病院  
石川県金沢市御新保町ヌ-153  
☎076-237-8211  
☆拠点病院  
●富山医科薬科大学附属病院  
富山県富山市砂谷2630  
☎0761-34-2281  
●富山県立中央病院

- 富山県富山市西長江2-278  
☎0764-24-1531
- 国立金沢病院  
石川県金沢市石川3-1-1  
☎076-262-4161
- 国立療養所西宮病院  
石川県金沢市若田町2-73  
☎076-258-1180
- 金沢大学医学部附属病院  
石川県金沢市西町13-1  
☎076-265-2000
- 国民健康保険小松市民病院  
石川県小松市向本折町末60  
☎0761-22-7111
- 金沢医科大学病院  
石川県河北郡内野町字大学1-1  
☎076-286-3511
- 国立山中病院  
石川県石川郡山中町土里町ル15-1  
☎07617-8-0301
- 公立能登総合病院  
石川県白山市藤橋町午部22  
☎0767-52-6611
- 福井医科大学医学部附属病院  
福井県吉田郡松岡町下合目23-3  
☎0776-61-3111
- 福井県立病院  
福井県福井市四ツ井2-8-1  
☎0776-54-5151
- 市立敦賀病院  
福井県敦賀市三島1-6-60  
☎0770-22-3611
- 国立療養所福井病院  
福井県三方郡三方町久保1315-1-1  
☎0770-45-1131



東海ブロックは、エイズ医療には患者・感染者の心身両面にわたる包括的医療が求められていることを踏まえ、そのような良質な医療の実現を目的としている。そのためにブロック拠点病院と拠点病院の間で連携を深めながら、診療体制の整備を図っている。

★ブロック拠点病院

- 国立名古屋病院  
愛知県名古屋市中区三の丸1-1-1  
☎052-951-1111
- ☆拠点病院
- 岐阜県立岐阜病院  
岐阜県岐阜市野一色4-6-1  
☎058-246-1111
- 岐阜大学医学部附属病院  
岐阜県岐阜市西町40  
☎058-265-1241
- 岐阜県立多治見病院  
岐阜県多治見市前畑町5-161  
☎0572-22-5311
- 木沢記念病院  
岐阜県美濃郡加茂市吉井町下吉井590  
☎0574-25-2181
- 岐阜県立下呂温泉病院  
岐阜県高山市日野東5-1-1  
☎058-243-5511
- 高山赤十字病院  
岐阜県高山市大講町3-11  
☎0577-32-1111
- 国立東静岡病院  
静岡県駿東郡清水町長沢762-1  
☎0559-75-2000

- 沼津市立病院  
静岡県沼津市東権路字春ノ木550  
☎0559-24-5100
- 富士宮市立病院  
静岡県富士宮市錦町3-1  
☎0544-27-3151
- 清水市立病院  
静岡県清水市高加三1231  
☎0543-36-1111
- 静岡市立静岡病院  
静岡県静岡市道子町10-93  
☎054-253-3125
- 焼津市立総合病院  
静岡県焼津市道原1000  
☎054-623-3111
- 藤枝市立総合病院  
静岡県藤枝市駿河台4-1-11  
☎054-646-1111
- 市立島田市民病院  
静岡県島田市理科町1200-5  
☎0547-35-2111
- 磐田市立総合病院  
静岡県磐田市大久保512-3  
☎0538-38-5000
- 総合病院浜松赤十字病院  
静岡県浜松市高林1-5-30  
☎053-472-1151
- 総合病院聖隷浜松病院  
静岡県浜松市住吉2-12-12  
☎053-474-2222
- 共立湖西総合病院  
静岡県湖西市渡津12259-1  
☎053-576-1231
- 富士市立中央病院  
静岡県富士市富部町150  
☎0545-52-1131
- 静岡県立総合病院  
静岡県静岡市北安東4-27-1  
☎054-247-6111
- 静岡県立子ども病院  
静岡県静岡市南条山860  
☎054-247-6251
- 浜松医科大学医学部附属病院  
静岡県浜松市平田町3600  
☎053-435-2604
- 西部浜松医療センター  
静岡県浜松市富塚町328  
☎053-453-7111
- 総合病院聖隷三方原病院  
静岡県浜松市三方町3453  
☎053-436-1251
- 静岡済生会総合病院  
静岡県静岡市小丸1-1-1  
☎054-285-6171
- 順天堂大学医学部附属  
順天堂伊豆長岡病院  
静岡県田方郡伊豆町長岡1129  
☎0559-48-3111
- 三重県立総合医療センター  
三重県四日市市大字日本5450-132  
☎0593-45-2321
- 三重大学医学部附属病院  
三重県津市江ノ島2-174  
☎059-232-1111
- 山田赤十字病院  
三重県度会郡御園村高向810  
☎0596-28-2171
- 国立三重中央病院  
三重県久居市明神町2158-5  
☎059-259-1211
- 名古屋第一赤十字病院  
愛知県名古屋市中村区道下町3-35  
☎052-481-5111
- 名古屋第二赤十字病院  
愛知県名古屋市中村区妙見町2-9  
☎052-832-1121
- 豊橋市民病院  
愛知県豊橋市吉竹町字八間450  
☎0532-33-6111
- 市立岡崎市民病院  
愛知県岡崎市高蔵寺町字五所合3-1  
☎0564-21-8111
- 小牧市民病院  
愛知県小牧市常善詰1-20  
☎0568-76-4131
- 県立尾張病院  
愛知県一宮市大和町新安賀2135  
☎0586-45-5000

- 国立療養所東名古屋病院  
愛知県名古屋市中区梅森坂5-101  
☎052-801-1151
- 名古屋市立東市民病院  
愛知県名古屋市中区千代松若木1-2-23  
☎052-721-7171
- 名古屋大学医学部附属病院  
愛知県名古屋市中区瑞穂区鶴舞町65  
☎052-741-2111
- 名古屋市立大学病院  
愛知県名古屋市中瑞穂区瑞穂町字川邊1  
☎052-851-5511
- 愛知県厚生農業協同組合連合会更生病院  
愛知県安城市御幸本町12-38  
☎0566-75-2111
- 愛知医科大学附属病院  
愛知県愛知郡長久手町大字岩作字藤又21  
☎052-264-4811
- 藤田保健衛生大学病院  
愛知県豊明市菅野町山桑ヶ窪1-98  
☎0562-93-2000



近畿ブロックは、ブロック拠点病院と拠点病院との連携の整備充実を図り、実際にHIV診療に携わっている医師等に速やかに最新情報を伝達したり、症例検討会などを通じて、病院間で適切なアドバイスの交換を行うなど、実質的なネットワークの構築を行っている。

★ブロック拠点病院

- 国立大阪病院  
大阪府大阪市中央区法円町2-1-14  
☎06-6942-1331
- ☆拠点病院
- 滋賀医科大学医学部附属病院  
滋賀県大津市蒲田月輪町  
☎0775-48-2111
- 国立八日市病院  
滋賀県八日市市五雲町255  
☎0748-22-3030
- 京都大学医学部附属病院  
京都府京都市左京区聖徳院田原町54  
☎075-751-3036
- 京都府立医科大学附属病院  
京都府京都市上京区河原町通  
広小路1-1-1 龍井町465  
☎075-251-5111
- 国立京都病院  
京都府京都市伏見区深草向畑町1-1  
☎075-641-9161
- 京都市立病院  
京都府京都市中京区壬生東高師町1-2  
☎075-311-5311
- 関西医科大学附属洛西  
ニュータウン病院  
京都府京都市西京区大枝東新林町3-6  
☎075-332-0123
- 公立山城病院  
京都府相楽郡本町大字木津小宮池田74-1  
☎0774-72-0235
- 公立南丹病院  
京都府船井郡八木町大字八木小字土野25  
☎0771-42-2510
- 国立舞鶴病院  
京都府舞鶴市字行永2410  
☎0773-62-2680
- 京都府立と謝の海病院  
京都府与謝郡岩瀬町男山481  
☎0772-46-3371
- 京都第一赤十字病院

- 京都府京都市東山区本町15-749  
☎075-561-1121
- 国立大阪南病院  
大阪府河内長野市市東町2-1  
☎0721-53-5761
- 国立療養所近畿中央病院  
大阪府堺市長曾根町1180  
☎0722-52-3021
- 国立療養所刀根山病院  
大阪府豊中市刀根山5-1-1  
☎06-6853-2001
- 大阪大学医学部附属病院  
大阪府吹田市南田尻2-15  
☎06-6879-5111
- 大阪市立大学医学部附属病院  
大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7  
☎06-6645-2121
- 愛知医科大学附属病院  
大阪府高槻市大学町2-7  
☎0726-83-1221
- 関西医科大学附属病院  
大阪府河内市文徳町10-15  
☎06-6992-1001
- 近畿大学医学部附属病院  
大阪府大阪狭山市大野東377-2  
☎0723-66-0221
- 大阪府立病院  
大阪府大阪市住吉区万代東3-1-56  
☎06-6692-1201
- 大阪府立羽曳野病院  
大阪府羽曳野市はびきの3-7-1  
☎0729-57-2121
- 大阪市立総合医療センター  
大阪府大阪市都島区都島本通2-13-22  
☎06-6929-1221
- 市立堺病院  
大阪府堺市南安井町1-1-1  
☎0722-21-1700
- 東大阪市立総合病院  
大阪府東大阪市西岸13-4-5  
☎06-6781-5101
- りんくう総合医療センター  
市立立野野病院  
大阪府泉佐野市りんくう往来北2-23  
☎0724-69-3111
- 星ヶ丘厚生年金病院  
大阪府枚方市泉丘4-8-1  
☎0720-40-2641
- 神戸大学医学部附属病院  
兵庫県神戸市中央区楠町7-5-1  
☎078-382-5111
- 国立神戸病院  
兵庫県神戸市須磨区西落合3-1-1  
☎078-791-0111
- 神戸市立中央市民病院  
兵庫県神戸市中央区港島中町4-6  
☎078-302-4321
- 兵庫県立尼崎病院  
兵庫県尼崎市東大物町1-1-1  
☎06-6482-1521
- 関西労災病院  
兵庫県尼崎市稲葉町3-1-69  
☎06-6416-1221
- 公立学校共済組合近畿中央病院  
兵庫県伊丹市車庫3-1  
☎0727-81-3712
- 国立明石病院  
兵庫県明石市大久保町八木743-33  
☎078-936-1101
- 国立姫路病院  
兵庫県姫路市本町68  
☎0792-25-3211
- 公立豊岡病院  
兵庫県豊岡市立野町16-35  
☎0796-22-6111
- 兵庫県立淡路病院  
兵庫県洲本市下加茂1-6-6  
☎0799-22-1200
- 兵庫医科大学病院  
兵庫県西宮市武庫川町1-1  
☎0798-45-6111
- 奈良県立医科大学附属病院  
奈良県橿原市四条町840  
☎0744-22-3051
- 和歌山県立医科大学附属病院  
和歌山県和歌山市紀元2-5811-1  
☎0734-47-2300

●国立南和歌山病院  
和歌山県田辺市たきない町27-1  
☎0739-26-7050

## 中国四国



中国四国ブロックは、HIV診療体制の確立を図ることによって、HIV感染者の健康状態を保持し、生活の質を高めることを目標としている。そのためにHIV感染者の美態とケアのレベルの把握や、ケア提供者の連絡体制の確立などを行動目標においている。

- ★ブロック拠点病院
- 広島大学医学部附属病院**  
広島県広島市南区段1-2-3  
☎082-257-5555
  - 広島県立広島病院**  
広島県広島市南区宇品神田5-54  
☎082-254-1818
  - 社会保険広島市民病院**  
広島県広島市南区基町7-33  
☎082-221-2291
  - ☆拠点病院
  - 鳥取県立中央病院**  
鳥取県鳥取市津1730  
☎0857-26-2271
  - 鳥取大学医学部附属病院**  
鳥取県米子市西町36-1  
☎0859-33-1111
  - 島根医科大学医学部附属病院**  
島根県出雲市塩治町89-1  
☎0853-23-2111
  - 島根県立中央病院**  
島根県出雲市今市町116  
☎0853-22-5111
  - 国立浜田病院**  
島根県浜田市浜田町3748  
☎0855-22-2300
  - 松江赤十字病院**  
島根県松江市母衣町200  
☎0852-24-2111
  - 益田赤十字病院**  
島根県益田市乙吉町イ103-1  
☎0856-22-1480
  - 川崎医科大学附属病院**  
岡山県倉敷市松島577  
☎086-462-1111
  - 岡山大学医学部附属病院**  
岡山県岡山市東区12-5-1  
☎086-223-7151
  - 国立岡山病院**  
岡山県岡山市南方2-13-1  
☎086-223-8111
  - 総合病院岡山赤十字病院**  
岡山県岡山市菅12-1-1  
☎086-222-8811
  - 恩賜財団岡山済生会総合病院**  
岡山県岡山市伊福町1-17-18  
☎086-252-2211
  - (財)倉敷中央病院**  
岡山県倉敷市美和1-1-1  
☎086-422-0210
  - 岡山労災病院**  
岡山県岡山市築港緑町1-10-25  
☎086-262-0131
  - 国立療養所南岡山病院**  
岡山県倉敷市東区3丁目534066  
☎086-482-1121
  - 国立福山病院**  
広島県福山市河野上町4-14-17  
☎0849-22-0001
  - 国立呉病院**  
広島県呉市吉田町3-1

- ☎0823-22-3111
- 山口県立中央病院**  
山口県防府市大崎77  
☎0835-22-4411
- 山口大学医学部附属病院**  
山口県宇部市大字小中1144  
☎0836-22-2111
- 国立岩国病院**  
山口県岩国市黒崎町2-5-1  
☎0827-31-7121
- 国立療養所山陽病院**  
山口県宇部市東岐波685  
☎0836-58-2300
- 国立下関病院**  
山口県下関市後山町1-1-1  
☎0832-22-6216
- 徳島大学医学部附属病院**  
徳島県徳島市蔵本町2-50-1  
☎0886-31-3111
- 徳島県立中央病院**  
徳島県徳島市蔵本町1-10-3  
☎0886-31-7151
- 香川医科大学医学部附属病院**  
香川県木田郡三木町大字池ノ内750-1  
☎0878-98-5111
- 国立療養所香川小児病院**  
香川県善通寺市善通寺町2603  
☎0877-62-0885
- 国立善通寺病院**  
香川県善通寺市仙遊町2-1-1  
☎0877-62-2211
- 香川県立中央病院**  
香川県高松市番町5-4-16  
☎0878-35-2222
- 三豊総合病院**  
香川県三豊郡豊後町大字御浜708  
☎0875-52-3366
- 愛媛大学医学部附属病院**  
愛媛県温泉郡重富町大字志呂川  
☎089-964-5111
- 国立療養所愛媛病院**  
愛媛県温泉郡重富町横河原366  
☎089-964-2411
- 愛媛県立伊予三島病院**  
愛媛県伊予市島田中2丁目1684-2  
☎0896-23-3345
- 愛媛県立新居浜病院**  
愛媛県新居浜市本郷3-1-1  
☎0897-43-6161
- (財)積善会附属十全総合病院**  
愛媛県新居浜市北新町1-5  
☎0897-33-1818
- 住友別子病院**  
愛媛県新居浜市王子町13-1  
☎0897-37-7111
- 愛媛労災病院**  
愛媛県新居浜市南小松原町13-27  
☎0897-33-6191
- 済生会西条病院**  
愛媛県西条市湖田町字桜ヶ丘269-1  
☎0897-55-5100
- 西条中央病院**  
愛媛県西条市湖田町804  
☎0897-56-0300
- 更正会村上記念病院**  
愛媛県西条市大町739  
☎0897-56-2300
- 公立周桑病院**  
愛媛県東予市壬生川131  
☎0898-64-2630
- 愛媛県立今治病院**  
愛媛県今治市伊予町4-5-5  
☎0898-32-7111
- 総合病院松山赤十字病院**  
愛媛県松山市文京町1  
☎089-924-1111
- 愛媛県立中央病院**  
愛媛県松山市春日町83  
☎089-947-1111
- 松山記念病院**  
愛媛県松山市美津1-10-38  
☎089-925-3211
- 市立大洲病院**  
愛媛県大洲市西大洲町1570  
☎0893-24-2151
- 市立八幡浜総合病院**  
愛媛県八幡浜市大字大平1-638

- ☎0894-22-3211
- 市立宇和島病院**  
愛媛県宇和島市御殿町1-1  
☎0895-25-1111
- 宇和島社会保険病院**  
愛媛県宇和島市賀古町2-1-37  
☎0895-22-5616
- 愛媛県立南宇和病院**  
愛媛県南宇和郡城辺町12433-1  
☎0895-72-1231
- 高知医科大学医学部附属病院**  
高知県高知市岡豊町小蓮185-1  
☎0888-66-5811
- 国立高知病院**  
高知県高知市朝倉西町1-2-25  
☎0888-44-3111
- 高知県立中央病院**  
高知県高知市桜井町2-7-33  
☎0888-82-1211
- 高知県立西南病院**  
高知県中村市吉田町1973  
☎0880-34-1234
- 高知市立市民病院**  
高知県高知市丸ノ内1-7-45  
☎0888-22-6111
- 高知県立安芸病院**  
高知県安芸市宝来町1-32  
☎0887-34-3111

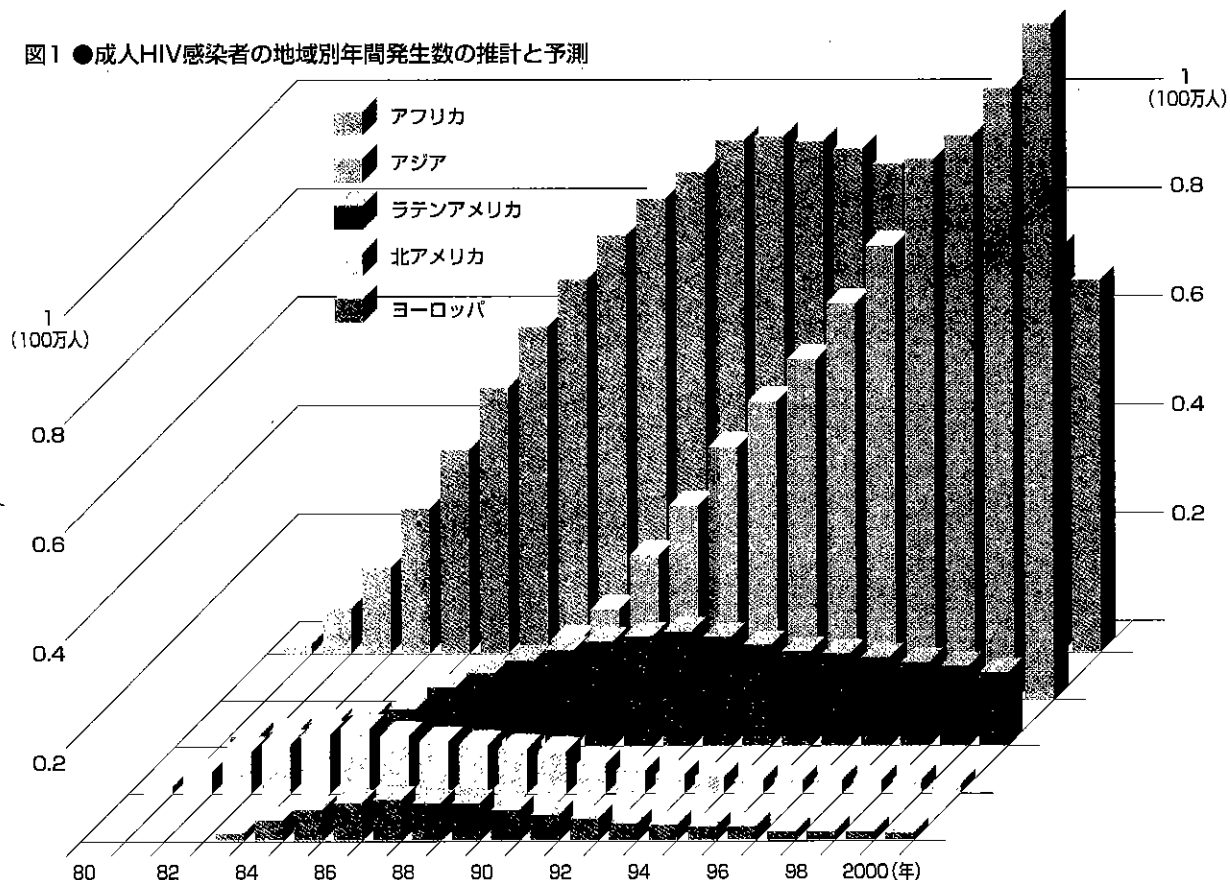


九州ブロックは、交通の不便さや情報流通の不十分さもあり、ブロック内の各地域で診療体制その他に大きな差がある。この差を克服し最新の治療がどこでも受けられるような体制整備が必要で、そのためにもブロック拠点病院と拠点病院との連携が大きな意味を持っている。

- ★ブロック拠点病院
- 国立病院九州医療センター**  
福岡県福岡市中央区地行浜1-8-1  
☎092-852-0700
  - ☆拠点病院
  - 九州大学医学部附属病院**  
福岡県福岡市東区基町3-1-1  
☎092-641-1151
  - 福岡大学病院**  
福岡県福岡市城南区七隈7-45-1  
☎092-801-1011
  - 産業医科大学病院**  
福岡県北九州市八幡西区医学生ヶ丘1-1  
☎093-691-7304
  - 久留米大学病院**  
福岡県久留米市地廻町67  
☎0942-35-3311
  - 聖マリア病院**  
福岡県久留米市書福本町422  
☎0942-35-3322
  - 飯塚病院**  
福岡県飯塚市芳雄町3-83  
☎0948-22-3800
  - 佐賀医科大学医学部附属病院**  
佐賀県佐賀市鍋島5-1-1  
☎0952-31-6511
  - 佐賀県立病院好生館**  
佐賀県佐賀市水ヶ丘1-12-9  
☎0952-24-2171
  - 長崎大学医学部附属病院**  
長崎県長崎市坂本1-7-1  
☎0958-49-7200
  - 国立長崎中央病院**  
長崎県大村市久原2-1001-1  
☎0957-62-3121
  - 佐世保市立総合病院**

- 長崎県佐世保市平瀬町9-3  
☎0956-24-1515
- 熊本大学医学部附属病院**  
熊本県熊本市本庄1-1-1  
☎096-344-2111
- 国立熊本病院**  
熊本県熊本市二の丸1-5  
☎096-353-6501
- 熊本市立熊本市市民病院**  
熊本県熊本市湖東1-1-60  
☎096-365-1711
- 大分医科大学医学部附属病院**  
大分県大分郡別所町大ケ丘1-1-1  
☎0975-49-4411
- 大分県立病院**  
大分県大分市豊後476  
☎0975-46-7111
- 国立別府病院**  
大分県別府市大宮内電1473  
☎0977-67-1111
- 国立大分病院**  
大分県大分市榎田12-11-45  
☎0975-93-1111
- 国立療養所西別府病院**  
大分県別府市大字鶴見4548  
☎0977-24-1221
- 大分県立三重病院**  
大分県大分郡三軒町大字宮野3964-1  
☎0974-22-7700
- 宮崎医科大学附属病院**  
宮崎県宮崎郡清武町大字本原5200  
☎0985-85-1510
- 宮崎県立宮崎病院**  
宮崎県宮崎市北高松町5-30  
☎0985-24-4181
- 国立都城病院**  
宮崎県都城市祝ヶ丘5033-1  
☎0986-23-4111
- 鹿児島大学医学部附属病院**  
鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘18-35-1  
☎099-275-5332
- 鹿児島県立大島病院**  
鹿児島県名瀬市真名町18-1  
☎0997-52-3611
- 国立南九州中央病院**  
鹿児島県鹿児島市城山町8-1  
☎099-223-1151
- 鹿児島県立鹿屋病院**  
鹿児島県鹿屋市打馬1-5-10  
☎0994-42-5101
- 出水市立病院**  
鹿児島県出水市明神町520  
☎0996-67-1611
- 琉球大学医学部附属病院**  
沖縄県中頭郡西原町字上原207  
☎098-895-3331
- 沖縄県立那覇病院**  
沖縄県那覇市与儀1-3-1  
☎098-853-3111
- 沖縄県立中部病院**  
沖縄県具志川市宮内208-3  
☎098-973-4111

図1 ●成人HIV感染者の地域別年間発生数の推計と予測



上のグラフはWHO報告による  
HIV感染者の地域別年間発生数の  
推計と予測である。  
HIV感染者はアジアで急増傾向にある。  
日本も例外ではない——

## ガイドブック 日本のエイズ・その医療体制 1998年度

### ●発行元

厚生省 厚生科学研究費・エイズ対策研究事業  
「エイズ治療の地方ブロック拠点病院と拠点病院間の連携に関する研究」  
主任研究者・吉崎和幸  
大阪大学健康体育部・健康医学第一部門  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1  
TEL 06-6879-8960 FAX 06-6879-8971

### ●分担研究者

北海道ブロック 小池隆夫（北海道大学医学部内科学第二講座）  
東北ブロック 佐藤 功（国立仙台病院臨床研究部病因研究室）  
関東甲信越ブロック 荒川正昭（新潟大学学長）  
北陸ブロック 河村洋一（石川県立中央病院血液免疫内科）  
東海ブロック 内海 眞（国立名古屋病院内科）  
近畿ブロック 白坂琢磨（国立大阪病院総合内科）  
中国四国ブロック 高田 昇（広島大学医学部附属病院輸血部）  
九州ブロック 山本政弘（国立病院九州医療センター内科）